



平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年7月31日

上場取引所 東名福

上場会社名 住友電気工業株式会社

コード番号 5802 URL <http://www.sei.co.jp/>

代表者 (役職名) 社長

(氏名) 松本 正義

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 林 昭

TEL 06-6220-4141

四半期報告書提出予定日 平成26年8月6日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	638,170	8.7	21,779	12.2	29,804	12.0	26,876	69.1
26年3月期第1四半期	587,343	11.4	19,405	8.4	26,615	12.1	15,898	13.8

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 22,047百万円 (△55.2%) 26年3月期第1四半期 49,222百万円 (865.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	33.88	—
26年3月期第1四半期	20.04	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第1四半期	2,592,558	1,391,472	46.4
26年3月期	2,554,819	1,379,912	46.6

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 1,202,384百万円 26年3月期 1,189,608百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	10.00	—	12.00	22.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	12.00	—	13.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,300,000	6.8	45,000	△4.3	54,000	△5.7	73,000	182.9	92.03
通期	2,700,000	5.1	125,000	4.1	142,000	△2.3	111,000	66.3	139.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) — 、 除外 一社 (社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期1Q	793,940,571 株	26年3月期	793,940,571 株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	744,463 株	26年3月期	743,904 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期1Q	793,196,307 株	26年3月期1Q	793,202,136 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高は638,170百万円と前年同四半期連結累計期間対比8.7%の増収、営業利益は21,779百万円と前年同四半期連結累計期間対比12.2%の増益、経常利益は29,804百万円と前年同四半期連結累計期間対比12.0%の増益、四半期純利益は26,876百万円と前年同四半期連結累計期間対比69.1%の増益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

自動車関連事業

ワイヤーハーネスは欧米等の需要が堅調なこと、また、防振ゴムは東海ゴム工業(株)が前年に子会社化した一部の会社の業績を前年第2四半期より連結していることなどにより、売上高は355,201百万円と前年同四半期連結累計期間対比40,137百万円の増収、営業利益は17,879百万円と前年同四半期連結累計期間対比3,169百万円の増益となりました。

情報通信関連事業

光・電子デバイスの需要増加があったものの、アクセス系ネットワーク機器の採算悪化などにより、売上高は36,908百万円と前年同四半期連結累計期間対比1,496百万円の増収となりましたが、営業損失は1,484百万円と前年同四半期連結累計期間対比591百万円の赤字拡大となりました。

エレクトロニクス関連事業

FPC(フレキシブルプリント回路)で携帯機器用の需要が減少したことから、売上高は58,739百万円と前年同四半期連結累計期間対比926百万円の減収、営業損失は1,084百万円と前年同四半期連結累計期間対比1,150百万円の減益となり、赤字に転じました。

環境エネルギー関連事業

(株)ジェイ・パワーシステムズの連結子会社化により、売上高は127,972百万円と前年同四半期連結累計期間対比5,108百万円の増収となりましたが、営業利益は1,009百万円と、同社の完全子会社化に係るのれん償却費負担や日新電機(株)での高精細・中小型FPD(フラットパネルディスプレイ)製造用イオン注入装置の減少により、前年同四半期連結累計期間対比878百万円の減益となりました。

産業素材関連事業他

自動車用の超硬工具の需要が引き続き堅調なことなどにより、売上高は78,259百万円と前年同四半期連結累計期間対比6,015百万円の増収、営業利益も5,459百万円と前年同四半期連結累計期間対比1,719百万円の増益となりました。

なお、各セグメントの営業利益又は営業損失は、四半期連結損益計算書の営業利益又は営業損失に対応しております。

(2) 連結財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は2,592,558百万円と、前連結会計年度末対比37,739百万円増加しました。

資産の部では、主に(株)ジェイ・パワーシステムズの連結子会社化のほか、保有株式の時価上昇に伴う投資有価証券の増加により、前連結会計年度末対比37,739百万円増加しました。

負債の部では、主に同社の連結子会社化により、前連結会計年度末対比26,179百万円増加しました。

また、純資産は1,391,472百万円と、四半期純利益の計上、保有株式の含み益の増加によるその他有価証券評価差額金の増加などと配当の支払いとの差引きにより、前連結会計年度末対比11,560百万円増加しました。自己資本比率は46.4%と、前連結会計年度末対比0.2ポイント低下しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年7月16日に公表した予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、当第1四半期連結会計期間より、持分法適用関連会社の株式会社ジェイ・パワーシステムズの完全子会社化に伴い、同社を持分法適用の範囲から除外し、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

一部の連結子会社は、税金費用について、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は法人税、住民税及び事業税に含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金が935百万円増加しております。また、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	161,797	145,481
受取手形及び売掛金	563,599	552,313
有価証券	343	3,603
たな卸資産	382,634	410,765
その他	99,293	112,659
貸倒引当金	△4,047	△4,709
流動資産合計	1,203,619	1,220,112
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	251,004	251,263
機械装置及び運搬具(純額)	297,109	297,101
工具、器具及び備品(純額)	48,175	47,020
その他(純額)	128,589	131,913
有形固定資産合計	724,877	727,297
無形固定資産		
のれん	21,453	30,924
その他	41,848	41,457
無形固定資産合計	63,301	72,381
投資その他の資産		
投資有価証券	453,520	462,681
その他	110,960	111,502
貸倒引当金	△1,458	△1,415
投資その他の資産合計	563,022	572,768
固定資産合計	1,351,200	1,372,446
資産合計	2,554,819	2,592,558

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	329,021	324,873
短期借入金	215,379	238,246
1年内償還予定の社債	10,620	10,620
未払法人税等	20,895	11,094
引当金	3,461	2,907
その他	161,070	176,937
流動負債合計	740,446	764,677
固定負債		
社債	46,230	46,230
長期借入金	258,954	261,597
退職給付に係る負債	47,507	43,682
その他の引当金	1,043	1,007
その他	80,727	83,893
固定負債合計	434,461	436,409
負債合計	1,174,907	1,201,086
純資産の部		
株主資本		
資本金	99,737	99,737
資本剰余金	171,020	171,020
利益剰余金	819,179	837,526
自己株式	△659	△659
株主資本合計	1,089,277	1,107,624
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	85,170	88,176
繰延ヘッジ損益	△1,097	△984
為替換算調整勘定	24,902	14,351
退職給付に係る調整累計額	△8,644	△6,783
その他の包括利益累計額合計	100,331	94,760
少数株主持分	190,304	189,088
純資産合計	1,379,912	1,391,472
負債純資産合計	2,554,819	2,592,558

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	587,343	638,170
売上原価	486,294	524,203
売上総利益	101,049	113,967
販売費及び一般管理費	81,644	92,188
営業利益	19,405	21,779
営業外収益		
受取利息	309	362
受取配当金	1,883	2,014
持分法による投資利益	5,697	7,231
その他	3,149	2,284
営業外収益合計	11,038	11,891
営業外費用		
支払利息	1,780	1,752
その他	2,048	2,114
営業外費用合計	3,828	3,866
経常利益	26,615	29,804
特別利益		
段階取得に係る差益	—	5,797
特別利益合計	—	5,797
特別損失		
固定資産除却損	368	348
特別損失合計	368	348
税金等調整前四半期純利益	26,247	35,253
法人税、住民税及び事業税	7,590	9,047
法人税等調整額	△97	△2,591
法人税等合計	7,493	6,456
少数株主損益調整前四半期純利益	18,754	28,797
少数株主利益	2,856	1,921
四半期純利益	15,898	26,876

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	18,754	28,797
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,264	3,622
繰延ヘッジ損益	△166	224
為替換算調整勘定	16,299	△8,363
退職給付に係る調整額	—	1,234
持分法適用会社に対する持分相当額	9,071	△3,467
その他の包括利益合計	30,468	△6,750
四半期包括利益	49,222	22,047
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	42,816	21,306
少数株主に係る四半期包括利益	6,406	741

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					合計 (百万円)	調整額 (注1) (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2) (百万円)
	自動車 関連事業 (百万円)	情報通信 関連事業 (百万円)	エレクトロ ニクス 関連事業 (百万円)	環境 エネルギー 関連事業 (百万円)	産業素材 関連事業他 (百万円)			
売上高								
外部顧客への売上高	314,802	35,043	56,409	118,664	62,425	587,343	—	587,343
セグメント間の内部売上高 又は振替高	262	369	3,256	4,200	9,819	17,906	△17,906	—
計	315,064	35,412	59,665	122,864	72,244	605,249	△17,906	587,343
セグメント利益又は損失(△)	14,710	△893	66	1,887	3,740	19,510	△105	19,405

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△105百万円は、主に未実現利益の消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					合計 (百万円)	調整額 (注1) (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2) (百万円)
	自動車 関連事業 (百万円)	情報通信 関連事業 (百万円)	エレクトロ ニクス 関連事業 (百万円)	環境 エネルギー 関連事業 (百万円)	産業素材 関連事業他 (百万円)			
売上高								
外部顧客への売上高	354,625	36,567	55,226	123,896	67,856	638,170	—	638,170
セグメント間の内部売上高 又は振替高	576	341	3,513	4,076	10,403	18,909	△18,909	—
計	355,201	36,908	58,739	127,972	78,259	657,079	△18,909	638,170
セグメント利益又は損失(△)	17,879	△1,484	△1,084	1,009	5,459	21,779	0	21,779

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額0百万円は、主に未実現利益の消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。